

広島の武家文化の伝統

平成 21 年 4 月、広島では、茶道上田宗箇流家元邸で広島城内上田家上屋敷再現披露のための特別公開（受付終了）、広島県立美術館での大名庭園に関する企画展など、近世の大名文化にふれることのできる催しがあります。近世大名の文化的な営みの背景には、地方の戦国大名による積極的な中央文化の受容がありました。茶・『源氏物語』・庭・儀式など、具体的な事例を紹介しながら解説します。

中世に育った武家文化と平安時代から続く貴族文化とが融合した近世の大名文化を通して、日本文化について考えます。

日時 平成 21 年 4 月 11 日・18 日(土)

13:30~15:40

会場 県立広島大学 広島キャンパス

(広島市南区宇品東 1-1-71)

学内には来客用駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

講師 県立広島大学人間文化学部

秋山 伸隆, 西本 寮子

松井 輝昭, 樹下 文隆

定員 100 名程度

対象 どなたでも

受講料 無料

申込方法

往復はがきで、往信面の裏に①郵便番号、②住所、③名前、④ふりがな、⑤電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、名前（「〇〇〇〇様」）をご記入の上、次のところまでお送りください。

県立広島大学地域連携センター
「文化講座」係

〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71
電話 (082) 251-9534

申込締切：平成 21 年 3 月 24 日(火)
消印有効

受講案内は返信はがきで 4 月上旬にお送りします。なお、申込多数の場合は抽選とさせていただきます。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は
県立広島大学公開講座以外の目的には使用
しません。

<主催 県立広島大学地域連携センター>

ご案内

平成 21 年 4 月 21 日(火)~5 月 31 日(日)、広島県立美術館で「一知られざるサムライ・アートー大名庭園展」が開催されます。あわせてご鑑賞ください。(右の割引券を切り取って、県立美術館チケット売り場にお出しく下さい。)

〈切り取り〉

広島県立
美術館
「一知られざる
サムライ・アートー
大名庭園展」割引券

一般 1,200円→1,100円
高・大学生 800円→700円
小・中学生 500円→400円

《 広島の武家文化の伝統 》

4月11日（土） 13:30～14:30 14:40～15:40

近世以前の茶の文化—中国地方を中心に—

人間文化学部教授 秋山 伸隆

室町時代に吉川経基が書写した『元亨釈書』の紙背文書に、茶の味を飲みわけて勝負を競う「闘茶」の記録があります。室町・戦国時代の中国地方の史料の中から「茶」に関する文書を収集して、江戸時代以前の「茶」の文化の様相を探ります。

武家の文化と『源氏物語』

人間文化学部教授 西本 寮子

現代に生きる源氏文化のいくつかは、江戸時代の初めごろにその原形ができあがりました。秀吉や家康が『源氏物語』に心を寄せていたことはよく知られていますが、それ以前の戦国大名たちも『源氏物語』に親しんでいました。今回の講座では、毛利家とその周辺の例を中心として、近世における源氏文化成立の背景としての『源氏物語』享受の歴史についてお話しします。

4月18日（土） 13:30～14:30 14:40～15:40

宗箇の庭に描かれた風景—江戸に生きる戦国武将の風雅とは—

人間文化学部教授 松井 輝昭

戦国の乱世を生き抜いた茶人上田宗箇は、広島城主浅野氏の別邸「縮景園」だけでなく、名護屋城や和歌山城などの庭園の作庭にも関わりました。大名たちはこれら宗箇の庭の風景に身をおいたとき、何を感じ何を読み取ったのでしょうか。このたびは宗箇の庭に描かれた風景をとおして、作庭者上田宗箇の考えが太平の世でどのような受け入れられ、また影響を及ぼすことができたかを考えます。

武家典礼の完成と普及—貴族・武家・庶民—

人間文化学部教授 樹下 文隆

武家文化は、貴族文化と武家文化の融合が始まった室町文化を継承しつつ、幕府の強い意向に沿って江戸時代の初期に完成します。その武家文化はやがて貴族や僧侶、さらには庶民にまで浸透していき、いわゆる江戸文化が開花するのです。武家文化が浸透していく具体的事例を、広島に縁のある事例も取り上げながら、お話しします。